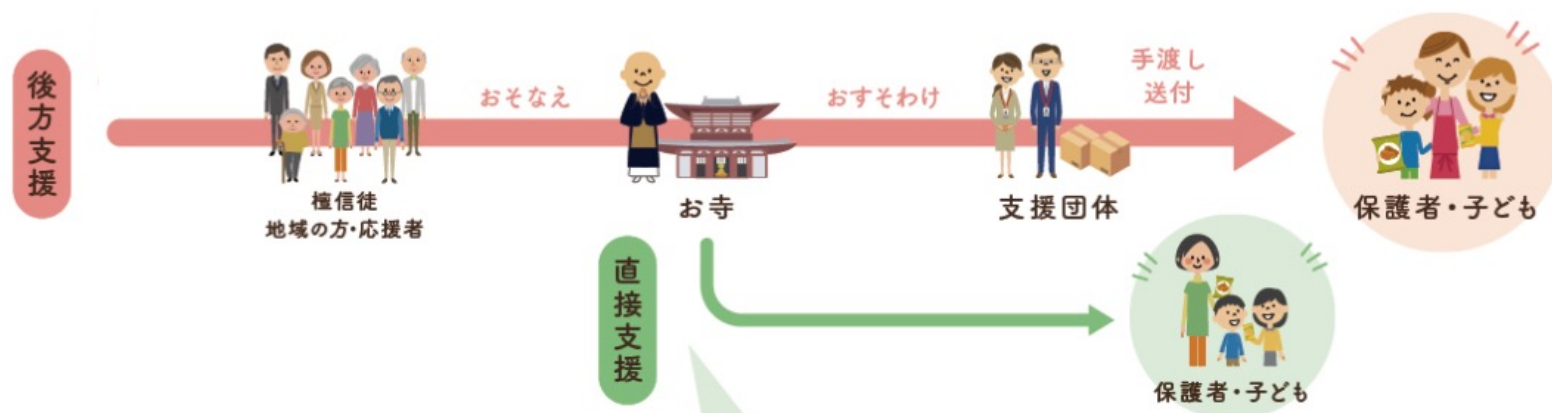


# 2022年12月 直接支援家庭向け調査報告書 (概要版)



2022.12.8

おてらおやつクラブから「直接支援」を受ける家庭について、  
家庭を取り巻く環境や、当団体とのつながりに対する意識や実態を把握し、  
今後の活動の示唆とする。



## 直接支援

活動の周知に伴って支援要請の数が増えたことにより、  
上記の後方支援だけでは支えきれないケースも増加。  
そこで、匿名配送の仕組みを新たにつくり、全国のお寺から  
ひとり親家庭へと直接「おすそわけ」を届ける支援形態を構築した。

調査目的	直接支援を受ける方の家庭環境や、おてらおてらおやつクラブとのつながりに対する評価を定量的に把握し、今後の活動の示唆とする。
調査手法	インターネット調査
調査対象 および有効回答数	期間中、おすそわけを希望し、事務局へ受取り報告をした計2,553世帯を調査対象とする。有効回答数は2,495（有効回答率 97.7%）。
調査時期	2022年7月3日（日）～11月26日（土）
サンプル数	計400サンプル（有効回答から無作為で抽出）

\* 当該期間中の「おすそわけ」の発送費用は、SMBCグループライジング基金からの寄付金を充当しています。

1

生活費の支払いに支障のあった家庭は、全体の7割強にのぼる。

\*ただし、期間中「生活費支払いに支障あり」の家庭を優先対応したため、スコアが高めにしている可能性あり。

2

おてらおやつクラブの直接支援を受けた家庭の分布は、1年前と比べて、関西圏・首都圏から、その他の地域へ、大幅に分散が進んでいる。

－「関西圏」の占める割合は22.3pt低下した一方、「首都圏」は1.2pt、「その他」地域は21.0pt上昇。

3

直接支援により「心理的な改善効果」「困った時に助けを求められる」指標でスコアが上昇した一方、「孤立感や孤独感がやわらぐ」指標は大幅に低下。

－「心理的な改善効果」は7pt、「困った時に助けを求められる」は9.2pt上昇した一方、「孤立感や孤独感がやわらいだ」は17.8pt低下。

おてらおやつクラブの直接支援を受ける家庭は、女性30-40代と、子ども1-2人のひとり親家庭が多い。

## Q. 親の性別

	N	女性	男性	無回答
全体	400	89.3%	2.3%	8.5%

## Q. 親の年齢

	N	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	400	0.3%	7.8%	39.5%	41.5%	10.0%	0.8%	0.3%

## Q. 子どもの人数

	N	1人	2人	3人	4人	5人
全体	400	46.3%	35.5%	13.5%	3.0%	1.8%

## Q. 居住地

	N	関西圏 2府4県	首都圏 1都3県	その他
全体	400	23.5%	20.0%	56.5%

多くはパート・アルバイトとして従事。  
 仕事での収入は10万円前後、預貯金は50万円未満が多くを占める。

## Q. 親の雇用形態

	N	パート・アルバイト	正社員	契約社員	派遣社員	自営業・フリーランス	無職
全体	400	42.3%	20.3%	9.8%	4.8%	3.5%	19.5%

## Q. 親の仕事での月収

	N	収入なし	1～5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20万円以上
全体	400	15.3%	7.0%	22.5%	31.8%	17.5%	6.0%

## Q. 親の預貯金

	N	預貯金なし	1～50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200万円以上	無回答
全体	400	45.3%	25.8%	12.3%	4.0%	3.3%	8.8%	0.8%

児童扶養手当を受給されていない世帯は2割弱。  
 (公的支援の受給条件等によって、給付の対象かどうか分かる)

Q. 児童扶養手当の受給

	N	あり	なし
全体	400	84.3%	15.8%

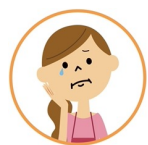
Q. 受給している公的支援 (複数回答)

	N	児童 手当	就学 援助 制度	生活 保護	特別 児童 扶養 手当	遺族 年金	児童 育成 手当 (東京都 在住の方 のみ)	障害 年金	障害児 福祉 手当	公的 支援は 受け取っ ていない
全体	400	81.3%	43.8%	9.5%	9.3%	8.3%	7.0%	5.5%	1.3%	4.3%

生活費の支払いに支障のあった家庭は、全体の7割強にのぼる。

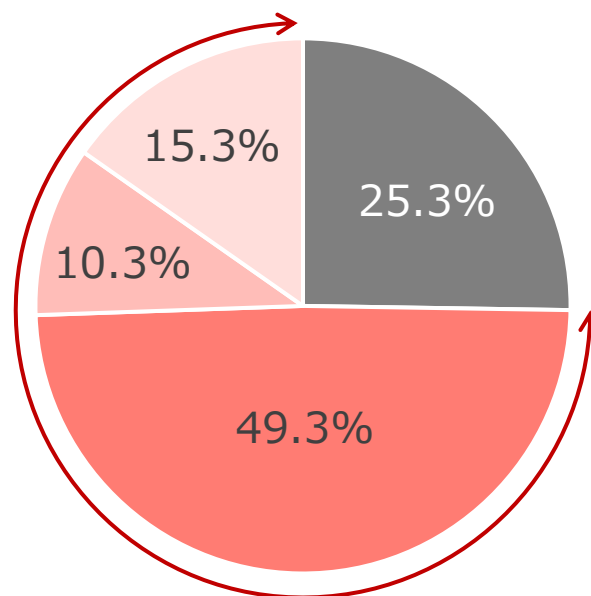
Q. 生活費（光熱費・家賃・通信量など）の支払い状況

- 支払えた
- 支払えたが、生活費を削った
- 支払えたが、借金をした
- 支払えないことがあった



生活費の支払いに  
支障があった

計) 74.7%

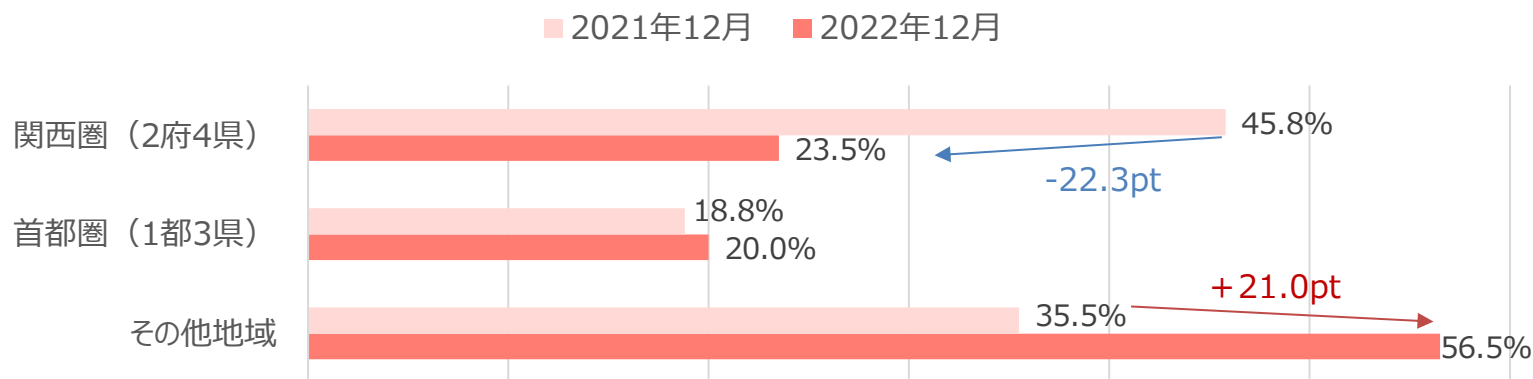


\*ただし、期間中「生活費支払いに支障あり」の家庭を優先対応したため、スコアが高めに出現している可能性あり。



おてらおやつクラブの直接支援を受けた家庭の分布は、1年前と比べて、関西圏・首都圏から、その他の地域へ、大幅に分散が進んでいる。

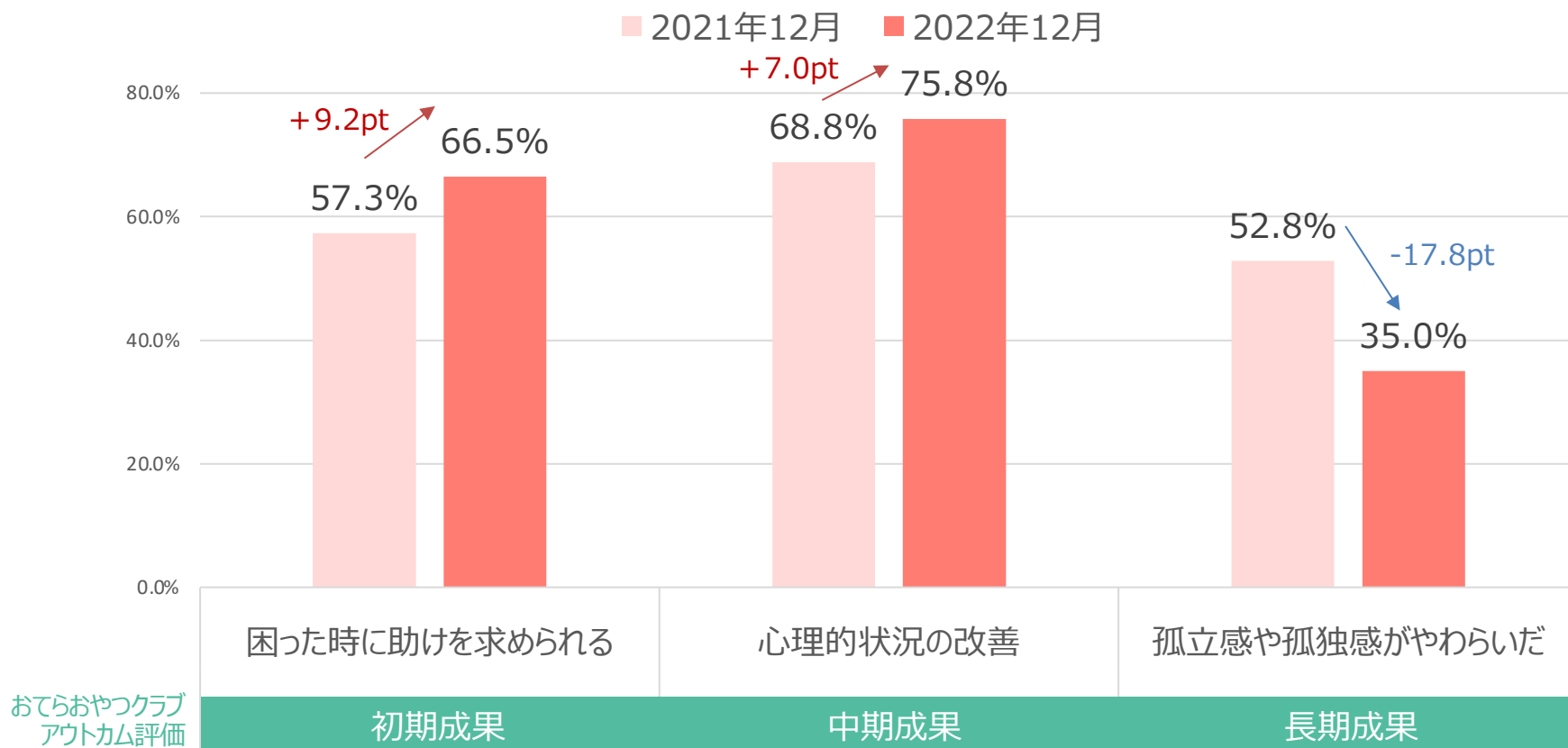
Q. 居住地分布、前年との比較



### 【直近1年間の、おてらおやつクラブ事務局の主な活動】

- ◎ 直接支援担当を、事務局から全国約1,800の寺院へ分散化
- ◎ 一般財団法人あしなが育英会など、支援団体との活動連携
- ◎ 高松市など、地方自治体との連携
- ◎ 全国巡回展を、地域寺院9カ寺で開催 など

直接支援により「心理的な改善効果」「困った時に助けを求められる」指標でスコアが上昇した一方、「孤立感や孤独感がやわらく」指標は大幅に低下。



自由回答から、社会情勢の不安定さが、人々の暮らしに強く影響していることが垣間見える。

## ▼物価高

消しゴムも入っていて、小6の息子が『欲しかったやつだあー！』『お菓子もある！』と喜んでいました。欲しい物も買う事がままならず消しゴム1個で、こんなに喜んでくれるんだと嬉しくなりました。同時に、親としての不甲斐なさも感じましたが、ただ、おてらおやつクラブ様と繋がった事で安心致しました。現在の、物価高騰の中、光熱費等の出費もかさみ、どうしたら良いのかと悩んでいたところ、テレビの特集で拝見し本当に助けられました。

（北海道の40代のお母さん／男児1人）

## ▼頼れる人がいない

コロナ感染で行政から誰かに頼って食料貰ってくださいと言われて頼れる人も周りに居なく、今回お願いしました。簡単に作れるごはんもの嬉しかったです。まさか果物まで入ってるなんて思っても居なかったので子供が大喜びでした！

（鳥取県の30代のお母さん／男児2人・女児1人）

## ▼孤独感の深まり

子ども達に買ってあげたいと思いながら購入に躊躇してしまい結局買えなかったり、自分のものは我慢ばかり。誰にも相談もできず、胸の中にしまい込み、普段は意識しないようにしていますが、ふとした時に孤独に襲われることが多々ありました。今回、おてらおやつクラブについてご紹介いただき、さっそくおすそわけのお願いをさせていただきました。届いたおすそわけの箱を開けた時の子ども達の笑顔は忘れられません！そして、一緒に入れて頂いたお手紙に心が温まり、手を差し伸べてくださる方がいることに感謝しかありません。経済面だけではなく、心が何よりも救われました。

（神奈川県のお母さん／男児2人）

## ▼子どもの成長を喜べない

先月、娘の生理が始まりました。成長を喜ぶべきなのに、真っ先に浮かんだのはこれから衛生用品の出費がかかる事。同時にそんな自分が情けなくなりました。でも、今日届いたおすそわけの中に衛生用品が入っていて思わず泣いてしまいました。普段口にする事のないゼリーなどもとても嬉しいです。頑張って生きていたら応援してくれる人がいるんだと思えました。

（愛知県の50代のお母さん／女児1人）

名称	認定NPO法人おてらおやつクラブ
所在地	〒636-0311 奈良県磯城郡田原本町八尾40
活動開始	2014年1月1日
認定NPO法人認証	2020年11月27日
Webサイト	<a href="http://otera-oyatsu.club">http://otera-oyatsu.club</a>
代表者	代表理事 松島靖朗
役員	理事 岡本拓也 理事 桂 浄薫 理事 高山信雄 理事 野田芳樹 理事 福井良應 理事 松野尾浩慈 監事 井出留美 監事 溝渕雅男
相談役	森本公穰